

JDS Network News

発行元：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）

2020 年から
JDS にモルディブが
仲間入りしました！

表紙：モルディブの風景



JDS モルディブ第 1 期生 来日前インタビュー

インターンシップ体験談：最先端の IT 技術と知識をパキスタンへ
タジキスタン労働移民雇用大臣就任記念ウェビナー
在日ウズベキスタン大使館と JDS 留学生のオンライン会議

世界の朝ごはん：モルディブ

JDS

The Project for
Human Resource Development
Scholarship by Japanese Grant Aid



日本に興味を持ったのは、10歳の頃に好きだった“カードキャプターさくら”が日本のアニメだと知ったことがきっかけでした。その後、日本の歴史や文化についても勉強して、16歳の頃には日本語の勉強も始めました。

日本をいつか訪問したいと思っていたところ、2011年に JENESYS プログラムへ参加する機会を得て、実際に日本を訪れることができました。日本では、ホームステイや、フィールドトリップ、講義など、様々な体験をして大変楽しい時間を過ごしたことを覚えています。

JDS 留学の公募が 2020 年秋にあり、日本の立命館大学で提供されているコースが自分自身の関心分野とまさに重なることを知り、今後のキャリアアップにも役立つと思い、JDS に応募しました。日本留学を通じて、日本語にも磨きをかけて、より流暢に話したり、日本のことをより深く知ったりしたいと思っています。今回の日本滞在では、京都の美しい街並みの中で2年間研究できるので、大変楽しみです。

JDS 留学では「インド太平洋地域の秩序の変化とモルディブ独自の外交政策の可能性」というテーマで修士論文を執筆する予定です。これまで、大国の勢力範囲の中で外交的活動をしてきたモルディブが、独自の外交政策を維持していく余地がどれだけあるのか、モルディブの視点から地政学的な変化を見つめつつ、探っていきたいと思っています。

ア イ ミ ナ ト ナウファー ルシディー
Aminath Naufa Rushdi

立命館大学国際関係学科 2021 年入学予定
モルディブ外務省二国間関係局中東・アフリカ課



JDS 留学生のインターンシップ体験談

最先端の IT 技術と知識をパキスタンへ

私は国際大学で公共経営の修士号を取得しながら、南魚沼市にある Adam Innovations 株式会社の「グローバル IT パーク」にて、半年間のインターンシップに参加しました。インターンシップでは、教育アプリの開発チームに加わり、最先端の IT スキルを学ぶことができました。

帰国後は、学んだ知識を活かして、組織内のコミュニケーションを円滑にするプラットフォームの開発などに携わりながら、パキスタン連邦政府に新しいスキルや考え方を取り入れていきたいと思っています。



ア リ アドナーン スハワット
Ali Adnan Skhawat

国際大学大学院国際関係学研究科 2021 年修了
パキスタン選挙委員会 選挙委員

JDS タジキスタン帰国留学生 労働移民雇用大臣就任記念ウェビナー



JDS タジキスタン帰国留学生である、Shirin Amonzoda(シーリーン・アマンゾーダ)氏がタジキスタン労働移民雇用大臣に就任したことを記念し、2021 年 6 月 4 日にウェビナーが開催されました。JDS 帰国留学生の中で初めての女性大臣となった同氏の話聞くことができる貴重な機会に、JDS 現役生、JDS 帰国留学生や、母校である立命館アジア太平洋大学の教員や学生など、120 名以上が参加しました。

ウェビナーの前半で行われたアマンゾーダ氏の基調講演では、観光業や雇用創出の観点から、タジキスタンの経済発展について講義を頂き、後半では JDS 留学時に同氏を指導されたクーパー・マルコム名誉教授と塚田俊三教授との対談となりました。対談では、JDS 留学中の経験にも触れながら、新型コロナウイルス感染拡大による変化にどのように対応していくかについてお話されました。オンライン上ではあったものの、同氏は恩師達との再会を喜んでいる様子で、リラックスした雰囲気の中、活発な議論が行われました。

在日ウズベキスタン大使館とのオンライン会議を実施



Djalilov Muzaffar 臨時代理大使

昨年 8 月に来日予定であった JDS ウズベキスタン留学生 15 名が、現地でのオンライン研究生生活を経て、2021 年 6 月 3 日、無事に来日を果たしました。14 日間のホテルでの隔離生活中、在日ウズベキスタン大使館、臨時代理大使(公使参事官、文部科学イノベーション担当)Djalilov Muzaffar 氏のご厚意により、Muzaffar 臨時代理大使と JDS ウズベキスタン留学生 15 名による、オンライン会議の機会を設けて頂きました。

会議では活発な意見交換が行われ、Muzaffar 臨時代理大使より、残りの研究生生活に対する応援と励ましの言葉が述べられました。その後留学生 15 名は予定通り隔離期間を終え、6 月 18 日に各受入大学へ移動し、日本での研究生生活を開始しました。

SINCE 1999



Where
Leaders
are made.





モルディブ料理といえば、何を思い浮かべますか？実は、モルディブといえばツナが有名で、東日本大震災の際も、60万個を超えるツナ缶を寄付してもらったそうです。1日当たりの魚消費量はなんと世界一！インドとスリランカから近いため、カレーに入れて毎日食されているそうです。今回は、そんなモルディブの定番朝ごはん「マスフニ&ロシ」と「ガルディア」をご紹介します。ぜひお家ごはんにも取り入れてみてくださいね。



■ マスフニ&ロシ（おふくろの味）

モルディブの定番朝ごはん。現地語で、マス＝魚、フニ＝ココナッツを削ったもののことだそうです。魚のフレークとココナッツ、紫玉ねぎ、唐辛子を刻んだものを混ぜ、最後にライムをギュッと絞って食べます。ロシは小麦粉の生地を薄く伸ばして焼いたもので、カレーとも一緒によく食べられるそうです。ロシを一口大にちぎって持ち、マスフニをそのまま食べます。モルディブでは手で食べる習慣があるため、熱々のものはあまり出てこないそうです。



■ ガルディア（魚のスープ）

ほぼ毎日家庭で食べられるというガルディア。主にカツオを塩ゆでして作られるそうです。風味づけにカレーリーフや玉ねぎ、唐辛子が入っています。マスフニ同様、仕上げにライムをギュッと絞って食べます。ご飯にかけても美味で、食欲がなくなる暑い夏でも食が進みそうですね。

JDS 3つの特徴

- 1 **行政官限定事業**
※一部例外がございます
- 2 **5,029名*1 19カ国*2の実績**
*1 事業終了国の人数も含む *2 現在の事業実施国数
- 3 **大臣・局長級を輩出**

対象国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が日本で修士号または博士号を取得します。

出身省庁…財務・経済、法務、行政、環境、インフラ、教育等

<事業実施対象国> ※受入人数順

ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス、バングラデシュ、フィリピン、ウズベキスタン、モンゴル、キルギス、パキスタン、スリランカ、ネパール、ガーナ、ブータン、東ティモール、タジキスタン、ケニア、エルサルバドル、モルディブ

※中国は2012年、インドネシアは2006年に事業終了しました。

日本で専門知識を身に付け帰国した留学生は、日本との政策対話に携わる等、様々な場面で活躍しています。

人材育成奨学計画（JDS）は無償資金協力によるJICA留学生受入支援事業です。

Editor's Note

JDS Network News（JNN）をお読みいただき、ありがとうございます。今月号は、JDSの受入れが今年から開始するモルディブの話題を中心にお届けしました。

今回の表紙写真はモルディブの首都マレにある“Presidential Jetty”、モルディブ独立50周年を記念して改築された栈橋です。青い空と青い海に映える、伝統的な船の帆をイメージした真っ白の屋根。自由に旅行ができるようになり、この美しい景色をゆっくりと眺められる日が来ることを祈るばかりです。

JDS 事業に関するご質問がございましたら、お気軽にメールで弊センターまでお問合せください。また、本誌へのご意見・ご感想もお待ちしております。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）
留学生事業第一部 留学生事業課 広報担当
E-MAIL: jds.PR@jice.org